

第3学年 音楽科 学習指導案

1 題材名 日本の音楽でつながろう

使用教材	Scratch
利用機器	Scratch (オフライン)、タブレット端末

2 題材について

(1) 目標

日本の音楽の音色や、音楽の特徴が生み出す曲や演奏のよさなどを見いだしながら聴くことができるようにする。

音色を生かした演奏の仕方や、旋律の音の動きや反復を生かしてどのようにまとまりを意識した旋律をつくるかについて、思いや意図をもつことができる。

(2) 学習内容

児童（男子3名、女子4名、特別支援学級男子1名）は、友だち同士で助け合いながら意欲的に学習に取り組むことができる。11月からマーチングバンドの活動も始まったことで、楽器を演奏することへの関心も非常に高まっている。しかし、4月から始めたリコーダー演奏では、きれいに音を出したり、リズムよく演奏したりすることに関しては個人差が大きい。

本題材は、箏や三味線、三線の音色を比較鑑賞したり、それらの音色が生み出す雰囲気を感じ取りながら聴いたりすることで、日本の音楽のよさに気付かせることをねらいとしている。また、そのよさを生かして日本の音楽で使われている5つの音階を使いながら旋律づくりを行うことで、音楽の楽しみ方を広げていけるよう構成されている。

この学習は本来4年生で学習する内容である。複式学級への移行の関係で、3年生で学習するラ、ド、レの3つの音を使う旋律づくりを、児童は行っていない。またリコーダー演奏の技能にも個人差が大きいので、Scratchを活用することで、つくった旋律を自ら演奏しなくても、即興的に表現することができ、抵抗なく旋律づくりに取り組める。旋律づくりの学習では、昔話のオープニングを考える活動を行うことで、児童が「こんな旋律をつくってみたい」というねがいがもてるようにしたい。

(3) プログラミング体験の関連

2学期にScratchを活用して、「陽気な船長」「山のポルカ」の曲の一部をプログラミングし、個人練習の時間にそれを聴きながら練習に取り組んでいるので、操作方法は習得している。本時では5つの音の組み合わせを試行錯誤しながら考え、旋律づくりを行う。Scratchを活用することで、つくった音楽の再生とつくり直しを容易に繰り返すことができるため、演奏技能に関わらず、旋律づくりに集中することができる。また、自分の思いに合った旋律を保存して、次々に他の旋律をつくることのできるため、全員が意欲を持続したまま活動に取り組めると考える。

(4) 指導計画（全5時間）

- ① 箏や三味線、三線の音色の特徴を感じ取って聴く。・・・・・・・・・・・・ 1時間
- ② 箏の音色のよさや面白さを感じ取り、演奏する。・・・・・・・・・・・・ 2時間
- ③ 5つの音で旋律をつくり、2人で旋律をつなげる。・・・・・・（本時1 / 2時間）

3 本時の指導（3年1組 1月21日 5校時実施）

- (1) 本時の目標
五音音階から音を選び、昔話のオープニングに合う旋律をつくることができる。
- (2) 本時の展開

	学習活動・内容	指導上の留意点 ○評価
導入 (5分)	1 学習課題をつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> 昔話のオープニング部分を聞かせることで、給食時にかかる昔話のオープニングをつくってみたいというねがいがもてるようにする。
	(日本の音階を使った)昔話のオープニング曲をつくろう。	
展開 (30分)	<p>2 旋律のつくり方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の音階「ミソラドレ」 Scratch の使い方 最後の音「ラレ」 旋律の跳躍進行の欠点 <p>3 旋律づくりを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> リズム 音階 音の上がり下がり <p>4 つくった旋律を聴いて感想を発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ミソラドレを使った順次進行の旋律と跳躍進行の旋律、ミファソラシドレを使った順次進行の旋律を昔話の映像に合わせて流すことで、ミソラドレを使った順次進行の旋律が昔話に合うことに気付くことができるようにする。 Scratch で、ミソラドレのブロックの組み合わせを考えさせることで、旋律づくりができるようにする。 教科書にある旋律を全員で一緒につくることで、Scratch の使い方を確認できるようにする。 ワークシートを使うことで最後の音や跳躍進行に気を付けて旋律づくりができるようにする。 ワークシートに選んだ音を書くことで音の上がり下がりが見えるようにする。 <p>○5つの音を組み合わせて、昔話のオープニングに合う旋律をつくることできたか。 (Scratch)</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表しない児童のタブレット端末は半分閉じておくことで、友だちのつくった旋律を集中して聴けるようにする。
終末 (10分)	5 本時の振り返りを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ロイロノートで5色のシートを使って感想を書くことで、全員のめあての達成度が分かりやすいようにする。 <p>(赤 黄 緑 青 黒) できた できなかった</p>